

2016 (H28) . 10. 23 御岩神社-高鈴山-助川城跡

(JA1YEF/茨城県立日立第一高等学校・附属中学校)

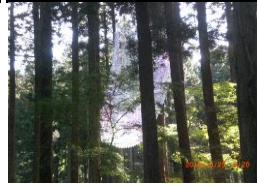
目的: 中学科学部で可能なコースを調査・検討 / バスで高度が稼げ、**下り楽。トイレ多く**、中学生 中級者向け!! 終点日立二高前バス停あり。

参加: 科学部 関山 (文化部系・重量級・中年 がゆっくり歩くペースにて時間計測)

地図: 国土地理院1/25000 **日立・町屋** / **御岩山周辺はH23東日本震災以来、ルート変更・立ち入り禁止区域あり。落石・滑落等要注意!!**

時間	時刻	場所・メモ	備考
15	8:30	日立一高発(徒歩)	トイレ
	8:48	神峰公園口 東河内行き乗り場(60番バス、整理券2番)	
	9:10	御岩神社前 Bus¥490 表参道登山	トイレ
45	9:45	上空分岐(向陽台-御岩神社-御岩山)以後、急な登り	
	9:55	御岩山 広場	周辺注意
	10:00	発、高鈴山へ	
30		御岩山-玉だれの滝4km-高鈴山 分岐	
	10:20	屋根付き休憩所	
	10:30	高鈴山山頂	トイレ
15?	?	発	
40	10:55	かみすわ-助川城跡-キャンプ場 分岐広場	
	11:00	発	
	11:16	車の残骸?	
160	11:36	百体観音	
	11:55	助川城跡4.5km-かみすわ(山荘)-高鈴山4km 分岐	
	12:05	おむすび池(高鈴山-青葉台団地-ひねり沢-助川 分岐)	トイレ
15		採石運搬ケブルカー下、トンネル	
	12:20	助川山展望台	展望台登り口にトイレ
	12:45	発	
60	13:15	高鈴山-小平記念館-助川城跡1km 分岐	
	13:30	助川城跡(城跡通り抜×鳩山スポーツセンター脇右折/迷う)	トイレ
45	14:15	日立二高前経由徒歩 日立一高着	

行程写真抜粋(詳細は写真ホルダー参照)



御岩神社 県北アート!?



御岩山山頂



高鈴山山頂



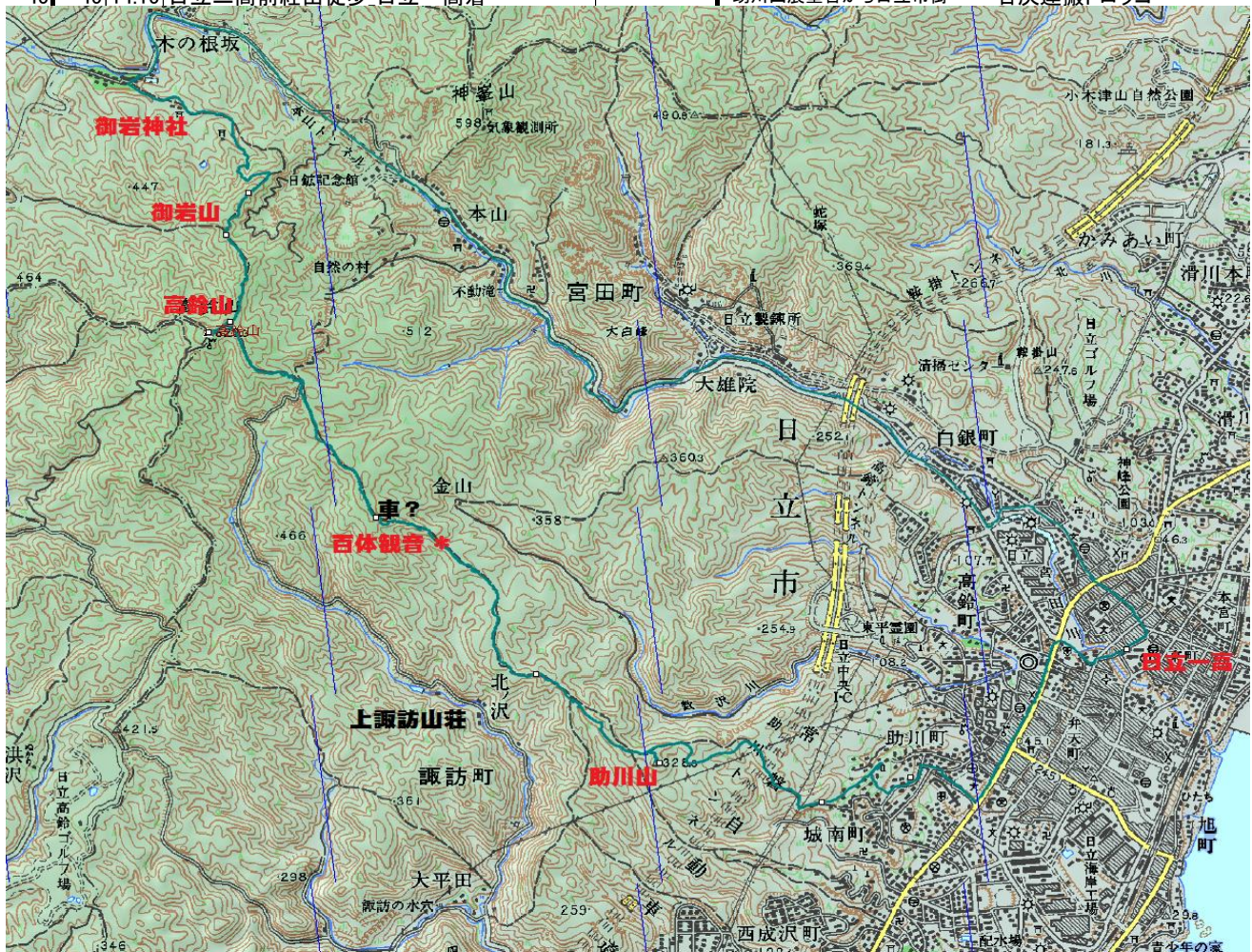
百体観音



助川山展望台から日立市街



石灰運搬トロコ



※高鈴山へのアプローチ: 御岩山から30分!! 御岩山からは、ほぼ水平。高鈴山から助川城跡までは、下りのため楽!! (以前、逆コースの登りはバテた!) 下りが続いたため、足の小指と太ももが痛む。しっかりした靴と、杖があると相当楽。
御岩山の岩石地層、途中の石灰岩、展望、百体観音、おむすび池、三角池、...など、変化と見所に富む。御岩神社の県北アートは○×▼?! だった。
○今回のコースはトイレがあちこちにあり、中学生や女子でもOK。ただしポット便所で汚いため、覚悟が必要、紙の用意も。
○風神山までの縦走も、御岩神社or向陽台(きららの里)or日鉦記念館口各バス停から御岩山へアプローチすると、バスで高度が稼げ、ほぼ下りとなり楽そう!!
×助川城跡までのルートが表示なし!! 鳩が丘スポーツセンターわきを通るが、地元の人にきかないと絶対分らない。
×御岩山は週末は軽装登山者多数。神社から? 飲料や地図・靴など要注意。



上: 周辺地図 GPS実測

左: 高鈴山から百体観音へ向かう途中、あり得ない場所にうち捨てられた車。数mmの丸い穴が無数に開いていた...

2016 (H28) . 10. 29 向陽台- (御岩山)-高鈴山-風神山／日立縦走

(JA1YEF/茨城県日立第一高等学校・附属中学校)

目的: ①中学科学部で可能なコースを調査・検討 ②JA1YEF(無線)電波状況調査 /バスで高度を稼ぎ、高鈴山から石灰採石場(真弓神社分岐)までは下り。バス停or駅を起点。

参加: 科学部 関山 (文化部系・重量級・中年 がゆっくり歩くペースにて時間計測) /前日まで雨、少し肌寒い時期。水1.5%・塩飴・杖 休憩用の敷物必要

地図: 国土地理院1/25000 日立・町屋・常陸太田 / 図中の緑線はGPSによる実測、青は磁北線

時間	時刻	場所・メモ	備考
	15 8:35	日立一高 徒歩発(8:30に立つべき)	神峰公園下に団地
	20 8:48	神峰公園口バス停発 60東河内(ひがしごうど)	行き同名のバス停
		行バス、整理券2番	あり、注意
	9:07	日鉱記念館前バス停下車 ¥360	途中、一本杉
	20	新 本山トンネル内徒歩20分、向陽台下の駐車場へ	
	10 9:34	向陽台下の駐車場登山口発 旧道舗装道を	
	15 9:44	向陽台(旧向陽台バス停。町の跡?)から高鈴山登山口	
	9:57	分岐(向陽台-御岩神社-御岩山・高鈴山)	急な登り5分
60	7	(御岩山頂上へ行かず、迂回路)	御岩神社の三本杉
	30 10:18	高鈴山手前の屋根付き展望台	
	10:28	高鈴山山頂	トイレ
60	60 10:44	発	急な下り
	11:44	ゴルフ場前舗装道路	横断車注意
	15	ゴルフ場内アスファルト道15分	
	12:00	風神山方面登山口	この先ぬかるみあり
	12:15	食事の後 発	
90	70 12:40	新しい道を横切り、直進。ここから車両が入っていた?	
	12:45	分岐? (直角に右折)	
	13:25	石灰採取場	ダンプ注意
	13:32	真弓神社への分岐、夫婦杉	真弓神社下の叢杉
	30 13:40	石灰道路から風神山方面登山口へ	
60	30 14:08	送電線鉄塔	
	14:35	風神山山頂 石碑	
50	50 14:42	発、徒歩下山。大甕神社・キリスト大前を横切り駅へ	
	15:30	大甕駅 下り電車あり、日立駅まで¥200	トイレ
	14:00	日立一高着	

結果・考察:
※装備反省: 前日が雨であったが、当日晴天となったため決行。余計なものを持たず、なるべく軽装で挑戦。14:30を過ぎると林の中が薄暗くなってきた。遅れたときのために懐中電灯が必要。地面が湿っているところが多く座れなかったため敷物の準備を。一日の行程のため飲料1.5%以上必要。以前はゴルフ場車両基地に自販機があったが、今回はなかった。ゴルフ場で昼食のパンをかじったが、目の前を通り過ぎるセレブ・プレイヤ一連と、泥だらけ無精ひげずらの自分との対比が笑えた。
○長距離となるため、文系中・高生にはキツイコース。森の中で人がほとんど見えず、自然貸し切り状態。向陽台までバスで高度を稼いだため、御岩山から先は緩やかな登りor平坦、高鈴山から先は下り。高鈴山から真弓神社付近までは、自然歩道では誰ともしれなかった。
×御岩山付近は、休日には軽装・子連れ・老人登山者が多い。神社からガイド図を頼りに登ってくる模様。飲料と地図は必須のはず...
△電波状況: 高鈴山山頂はレーダー波orデジタル信号と思われる断続波で受信音声がガサつく。2mFM、フルサイズホイップアンテナでは局数が少なかったが、風神山に近づくにつれ栃木や南方の局が多く入るようになる。PTTSスイッチが小さく力があるため、手がかじかむと送信しづらい。局数が極端に減った感あり。
□途中、団地に抜けるコースもあるが、交通アクセスが悪い。天然記念物の杉や地層、植生などが豊かで、別世界を味わえるが、距離が長文系中高生には困難と思われる。歩く会などで途中途中でサポート車両(許可車両が入れる林道多数)を置くと、おもしろいコース。

●以上で本校科学部中学生向けの日立市周辺自然観察コース調査を終える。交通アクセス(駅やバス停)・トイレの位置(女子が多数参加できるよう)に留意して調査した市内コースや営林署・日立市・ボランティア団体のご尽力で非常に良く整備されている。ただ、一部のコースでは携行食のゴミ、または旧人家のゴミ(古いびんやブリキ缶。とんでもない山中に人家の石垣や用水路跡が出現する。特に、神峰山と向陽台の間や周辺)があり、県外のハイカーも残念がっていた。●自然に富み、植生・岩石・滝や池や川・産業遺産等、中高生の学習の場としては最適と確信するが、玉だれの滝周辺地、歩道がなく、遠足や校外学習コースとしては限定されてしまうのが残念である。●ガイドマップやコース内標識に頻繁に出てくる「向陽台」「助川城跡」は、現地に標識が無かったり案内板が途中から無いなど、初めて訪れる者にとっては非常にわかりづらい。●H23の大震災の後、危険回避のためコースが変更されたり立ち入り禁止区域になっている所もある。また、1/25000地図のコースや分岐と、今回のGPS計測(2016年)とのズレのある部分もある。木に覆われているために衛星や航空写真に写らなかったり、測量年が古いと思われる。地図に載っていない道が多く存在する。舗装道も含めた廃道なども地図になかった。注意を要する。●今回の自然歩道のわきに車両が通れるような作業道がいくつも存在した。ガイドマップや1/25000地図にも無い。自然歩道は自動車用地図には載っていない。緊急時の待避道路として遊歩道と車道(許可車両専用道も含め)が正確に記載されている地図が望まれる。●現在、中学生には合宿や宿泊が許可されていないが、上諏訪山荘を起点・宿泊場所として利用できると、安全に様々な自然を体験できる範囲が広がると考えられる。●①神峰山-羽黒山-鞍掛山(7時間コース)②風神山-真弓神社(3時間)③石灰山口-神峰山-旧道-日鉱記念館(3時間)④御岩神社-御岩山-向陽台⑤御岩神社-御岩山-高鈴山-助川山-助川城跡⑥向陽台-御岩山-高鈴山-風神山⑦向陽台周辺 を調査し、本年度(H28)は科学部で鞍掛山と神峰山の2回、自然観察に出かけた。ハイカーや周辺住民の方々に多くのアドバイスをいただいた。御礼申し上げる。以上、科学部 関山 維感

